

令和4年度第3回学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立久米田高等学校
校長名	若林 武志

開催日時	令和5年2月18日(土)10:00~12:00
開催場所	久米田高等学校 校長室
出席者(委員)	堂之本会長、福井委員、田中委員、阿部委員、山本委員
出席者(学校)	若林校長、木下教頭、船越事務長、田戸首席、中村教諭、川北教諭
傍聴者	なし
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 学校評価(案) ・令和5年度 学校経営計画(案) ・令和4年度 久米田高等学校マネージメントシート(達成状況) ・令和4年度 学校教育自己診断結果 ・令和4年度 第2回授業アンケート結果(学校全体) ・スクールポリシー策定の予定
備考	

議題等(次第順)	<ul style="list-style-type: none"> ・校長挨拶 ・協議委員・事務局紹介 ・資料確認 ・令和5年度 学校経営計画(案) ・令和4年度 久米田高等学校マネージメントシート(達成状況) ・令和4年度 学校教育自己診断結果 ・令和4年度 第2回授業アンケート結果(学校全体) ・スクールポリシー策定の予定
----------	---

協議内容・承認事項等(意見の概要)	<p><令和4年度学校評価・令和5年度学校経営計画(案)・学校教育自己診断結果等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「遠足や文化祭などの学校行事は楽しく行えるように工夫されている。」という項目に生徒と保護者の両方から肯定的な回答が得られた。感染症のため数年行事ができていなかったが、今年では行えた。その影響が肯定的な回答に反映されていると考えられる。一方、学校の情報の発信の仕方に反省が残る。 ・「学校へ行くのが楽しい」「授業が工夫されている」という授業に対する肯定的な回答も増えている。しかし、「授業内容が進路実現に役立つ」ことよりも生徒の学力に応じた授業進度を優先している側面はある。 ・今年の3年生は新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けた学年であるが、学校に対する評価が良く、学校としても良好だと思ふ。 ・授業進度については、進学を意識すると生徒達にとっては早く感じ、生徒に合った進度にすると、進学のためには遅く感じる。丁度良い進度にするのは難しい。 ・今年度は行事をできていることに生徒達は有難さを感じているが、これからは当たり前になってしまう可能性がある。そのため、行事などへの肯定的な回答の割合はこれから下がっていく可能性がある。 ・高校選択では、経済的な要因で自宅から近いところを選ぶ家庭がこれから増えていくと思うので、あまり希望者倍率に捉われずに、地域の人達の意見を聞いて学校をより良くしていくとよい。 ・会社では、個人で外部にメール送信をするときには、必ずCCに部長を入れることになった。ICT関連のセキュリティが以前より厳重になって来ている。学校もセキュリティの意識を高めなければならない。 ・大学の部活も、コロナ禍の影響で人数が減少し休部になっているところが増えている。高校でも他校との合同練習などが必要である。 ・今まで授業はパワーポイントを使っていたが、今年は全て板書に戻してみたところ、今までで一番授業評価が高かった。ICTを使うことも大事であるが、手を動かすことも大事なかもしれない。「わかった」という気持ちにさせるには、自分で何かをする時間が必要だと思う。塾などでは、効果的な活用として、振り返りなどにうまくICTを活用している。授業を録画しておく、アルバイトが終わった後に動画を観る生徒が出てくるかもしれないし、生徒自身の負担も減る。ICTの活用の仕方も考えていかなければならない。 ・最近、会社もペーパーレス会議になった。それによって、頭に入りやすくなったが、頭から抜けやすくなった。自分で書くことによって、頭に残す必要があると思う。 ・進学状況に関しても順調である。現時点で、国公立大学の合格者は3名、近畿大学の合格者数はのべ105名、関大はのべ43名であった。その影響もあり次の年の受験生も目標を高くもつ生徒が増えてきている。今年度は共通テストの受験者が52名、数学や日本史の結果もよかった。 ・NPO公開講座にて、公務員や教員に就職した卒業生の話聞き、進路選択のきっかけになった。このような機会はこれからもとっていきたい。進学実績もこの結果を伸ばしていきたい。NPO公開講座は生徒や保護者が進路の選択のいい機会なのでこれからも作ってほしい。目標を見つける手助けになると思う。 ・学校見学会を年に4回(夏×2 秋×1 冬×1)実施した。参加者は夏2日間で800名、秋600名、冬200名が見学会に参加した。今までも入学者の半分以上が学校見学会に参加しており、手ごたえも感じている。 ・5年前はICTを全く使わないと答えた教員が25%いたが、今は11.5%しかおらずICTの普及を感じる。 ・昔はワープロの活用にも抵抗があったが気がつけばみんな使っている。ICTも同じように広まっていくのかもしれない。
-------------------	---

<スクール・ポリシー策定の予定>	<ul style="list-style-type: none"> ・スクール・ポリシーとは、各高等学校の入口から出口までの教育活動の指針で、 <ol style="list-style-type: none"> 1 高等学校学習指導要領に定めるところにより育成をめざす資質・能力に関する方針(いわゆるグラデュエーション・ポリシー) 2 教育課程の編成及び実施に関する方針(いわゆるカリキュラム・ポリシー) 3 入学者の受け入れに関する方針(いわゆるアドミッション・ポリシー) の3つの方針からなっている。 ・スクール・ポリシー策定の目的は、高等学校教育の入口から出口までの教育活動を一貫した体系的なものへと再構成し、各高等学校教育の継続性を担保することにある。 ・スクール・ポリシーは各学校が作り、スクールミッションは設置者が作る。今回はスクール・ポリシーの案を考えていくことになる。 ・大学のスクール・ポリシーは各学校によって特色が全然違う。一方高校は違いが出にくいように感じる。 ・スクール・ポリシーは、新しいことを掲げるのではなく、今やっていることを整理して分かりやすくすることが大切である。
------------------	---

次回の会議日程	
日時	令和5年6月17日10:00~(予定)
会場	大阪府立久米田高等学校